

第1回 接合科学ヒストリア講演会「喫茶 接合ロマン」を開催

接合科学研究所 広報・企画委員長 井上 裕滋

接合科学研究所 教授

溶接・接合技術開発に長らく携わってこられた方より、その歴史や開発経緯およびこれまで蓄積されてこられた知見を学ぶことは非常に貴重なことであり、ものづくりにおける溶接・接合技術の重要性を再認識できるものと考えます。そこで、広く一般市民の皆さんは元より、溶接・接合に関する教員・学生の皆さんにもその貴重な時間を分かち合っていただくことを目的として、接合科学ヒストリア講演会「喫茶 接合ロマン」を企画しました。一般市民の皆さん向けに接合科学研究所がアートエリア B1（京阪電車「なにわ橋駅」B1 コンコース）にて定期的に開催している「接合科学カフェ」が最新の溶接・接合技術を対象としているのに対し、「喫茶 接合ロマン」では過去の事例から現在までの技術進化を紹介したものとなっています。

第1回目の今回は、長らく(株)IHIで溶接技術開発に携わってこられ、現在は大阪大学接合科学研究所の招へい教授である中西保正氏をお招きし、「日本の鋼構造物の歴史から紐解く溶接技術開発」のタイトルで、令和1年12月3日(火)に大阪大学中之島センターにて開催しました。船舶、車両、貯蔵タンク、橋梁、ダム・水門など溶接構造物のものづくりの歴史を構造と溶接技術の観点から、ご自身の経験も踏まえながらわかりやすく講演していただきました。一般の方々は勿論のこと、教員でも初めて聞く内容が多く、非常に有意義な講演内容でした。

第2回講演会は令和2年1月21日(火)に三田常夫 接合科学研究所 招へい教授より「アーク溶接の発展経過」と題して講演していただきます。是非ご参加いただければと思います。

